

特別栽培認証申請質問表

生産者氏名 _____ 印 _____

住所 _____

電話 _____

ファックス _____

特定非営利活動法人

日本有機農業生産団体中央会

電話 03-5812-8055 ファックス 03-5812-7370

この質問表にもとづいて、書類審査を行います。記入された項目について、現地検査で内容の確認を行います。

、経営における特別栽培農産物の位置

1、あなたの農業生産の栽培区分についてお答えください。言葉の定義は、日本農林規格及び農林省ガイドラインで判断してください。該当項目に○。有機農産物は、有機 J A S の認定をすでに受けている場合にのみ該当します。

イ、すべて特別栽培農産物

ロ、有機農産物と特別栽培農産物の並行生産

ハ、有機農産物、特別栽培農産物、慣行栽培農産物の並行生産

ニ、特別栽培農産物と慣行栽培農産物の並行生産

2、それぞれの作付け面積は、どのくらいですか。面積を記入してください。

経営総面積	アール		
有機農産物圃場面積	アール		
特別栽培圃場面積	アール	(内 申請圃場面積	アール)
慣行栽培圃場面積	アール		

、生産施設 (該当する項目の○をつけてください)

1、圃場看板などで圃場の特定はされていますか。

はい いいえ

2、隣接圃場から農薬などが飛来する可能性はどのくらいですか。

イ、周辺からの飛来の心配のない場所である

ロ、隣の圃場と枝などが交差したり、入り組んでおり、農薬がダブルでかかる状態がある。

ハ、おおむね 1 m 以上の間隔があり、明瞭な区分となっている。

ニ、その他 (_____)

3、隣接圃場から化学肥料や土壌の流入の危険は、どのくらいですか。

イ、心配のない場所である

ロ、境界が明瞭でなく、ブロードキャスターなどの散布で肥料が飛散することもある

ハ、雨が降れば土砂や水が行き来する。

ニ、おおむね 1 m 以上の間隔がある。

ホ、その他（ ）

4、地域で空中散布が行われていますか。

いる いない

* いる場合に回答

空中散布の形態 有人ヘリ散布 ラジコンヘリ
実施場所からの距離 m

5、水田の用水についてお答えください（水稲と畑作の 2 毛作を含む。複数の場合は複数の回答）

イ、入水路と排水路が区分されており慣行栽培圃場の汚染水の流入の心配はない

ロ、水口に天然の吸着剤などを使用し、ろ過した水を使用している

ハ、入水路と排水路は分かれていない。特別の対策もとっていない。

、種子の入手方法

1、種子の入手は

イ、自家採取 ロ、購入

2、種子の由来は。

イ、有機農産物由来 ロ、特別栽培由来 ハ、慣行栽培由来 ニ、農協や種苗店にまかせて
いるので特別把握していない。

3、購入した種子の処理について確認されていますか。

イ、熱処理などの殺菌処理がされていた

ロ、農薬による殺菌・殺虫処理がされていた。 成分回数 回

（使用農薬 ）（ ）

（使用農薬 ）（ ）

ハ、何もされていなかった

ニ、確認していない

4、化学肥料のコーティング

イ、施されていない。

ロ、コーティングされている。

5、購入した種苗の遺伝子組み換え技術について

遺伝子組み換え技術を使用していないことを確認している

確認してない（確認していない場合は、種苗メーカーを記入してください）

種苗会社

、育苗管理

1、苗について（該当項目に○）

イ、種子を購入して苗を自分で育てている。

ロ、定植すればそれで良い状態に育った苗を購入して使っている。

2、苗を購入している方へ（該当していることに全部○）

イ、苗に農薬による殺菌・殺虫など処理が行われていた。

何が使用されていましたが（ ）

ロ、育苗に化学肥料が使われていた。

どのくらいの化学肥料が使用されていましたが

（ ）

ハ、無化学肥料、無農薬で育てた苗である

3、種子処理はどうしていますか（自分で行っていることについて回答ください）

イ、購入したものに特になにもしていない ロ、温熱処理をしている ハ、殺菌剤を使用

（殺菌剤使用の場合は薬剤名 ）

4、床土はどうしていますか。（回答は複数でかまいませんので、ご自分で行っていることを必ず記入してください）

イ、自分で材料を集めて作っている

ロ、自分で集めた土を熱などで殺菌処理をしている

ハ、自分で集めた土に農薬を使って殺菌などの処理をしている

（薬剤名 メーカー ）

ニ、自分で集めた土に化学肥料を混ぜたりしている。

ホ、農薬での殺菌・殺虫処理及び化学肥料の混ぜ込みなどがないことを確認して購入したものに有機のボカシなどをあわせて使用している。

ヘ、農薬での殺菌・殺虫処理及び化学肥料の混ぜ込みなどですぐ使えるようになったものを購入している。

、土作り及び肥料、葉面散布剤等

1、自家製造堆肥についてご記入ください

原料	およその割合	原料こだわり特記事項	原料調達先	調達先電話

調達先が裏山の落ち葉なら、調達先「裏山」とし電話必要なし。養豚家なら名前と電話を記入

(a) 堆肥置き場の構造

1、堆肥舎に屋根あり 2、コンクリート床に屋根無し 3、野積み

(b) 仕上がりまでの切り返し回数 回

(c) 仕上がりまでの期間 ヶ月

(d) 製造方法についてのこだわり特記事項

(e) 土づくりについて、あなたのお考えを記入してください。

2、購入堆肥

堆肥	原料	10㎡当使用量	購入先	購入先電話

3、肥料（使用している肥料について記入してください）

資材名	成分量(N - P - K %)	内化学合成窒素成分量の%	肥料登録の有無	10㎡当り使用量	購入先	購入先電話
			有 無			
			有 無			
			有 無			
			有 無			
			有 無			

購入資材については、パンフレットなど内容のわかるものを添付してください。

4、土壌改良剤

資材名	内容説明	目的	10㎡当り使用量	購入先	購入先電話

5、その他の資材（木酢液、キトサン、電解水など、肥料にも農薬にも分類されないものを記入）

資材名	内容	目的	10㎡当り使用量	使用回数	購入先	購入先電話

購入資材については、パンフレットなど内容のわかるものを添付してください

使用回数は、その作物の栽培期間中のおおよその使用回数

6、緑肥作物の導入について、あなたの考え方や工夫がありましたらご記入ください。

7、輪作について、あなたのお考えや工夫についてご記入ください。

8、土壌殺菌（行っていること全部に○をつけてください）

イ、おこなわない ロ、加熱処理 ハ、水洗い ニ、薬剤の使用

（薬剤名）

、病虫害対策

1、発生しやすい病気とそれに対してとっている対策をご記入ください

発生しやすい病気				
とっている対策				

2、発生しやすい害虫とそれに対する対策をご記入ください

発生しやすい害虫				
とっている対策				

3、あなたが特別に工夫する病虫害対策の特記事項（農薬を減らすためにとっている方法）

4、使用している農薬の規格（使用している農薬の袋や容器の表示から確認してください）

農薬名	剤の形状 (該当項目の○)	使用作物 への適用 登録の有 無	成分の数 (成分の 数のみ確 認し記入)	製造会社
	粉剤、水和剤、フロアブル剤、 乳剤、粒剤、液剤、水溶剤	有 無 未確認		
	粉剤、水和剤、フロアブル剤、 乳剤、粒剤、液剤、水溶剤	有 無 未確認		
	粉剤、水和剤、フロアブル剤、 乳剤、粒剤、液剤、水溶剤	有 無 未確認		
	粉剤、水和剤、フロアブル剤、 乳剤、粒剤、液剤、水溶剤	有 無 未確認		
	粉剤、水和剤、フロアブル剤、 乳剤、粒剤、液剤、水溶剤	有 無 未確認		

3、出荷の輸送

- イ、運送会社・集荷業者などが農場から引き取り ロ、集荷センター・市場などに自分で搬入
ハ、生初でライスセンターに搬入 ニ、自分で乾燥調整後、検査所に搬入、集荷業者に引き渡し
ホ、その他（ ）

4、出荷担当者

- イ、特定の担当者がある ロ、特定していない

5、選別、貯蔵、包装などを行う作業場の防虫・防鼠対策

- イ、特別に必要なない ロ、機械的な方法でおこなっている ハ、薬剤を使用している

6、薬剤を使用している場合に回答してください。

薬剤名とメーカー

薬剤が有機農産物を汚染しないようにとっている処置（ ）

、作物の表示

現在の出荷時の作物の表示は、どうしていますか。ラベルなどがありましたらサンプルを貼り付けてください。

、生産に使用している水、灌漑設備

1、生産圃場に灌漑設備はあるか

- イ、ある ロ、ないので天水に頼っている

2、灌漑用水の水源は

- イ、河川の流水 ロ、地下水 ハ、水道水

3、作物の洗浄などに使用している水は

- イ、河川の流水 ロ、地下水 ハ、水道水

4、作物の洗浄に河川水や地下水を使用している場合、水の水質検査は実施していますか。

- イ、実施（一番最近は、 年 月） ニ、未実施

5、灌漑設備の維持、内部消毒などのために薬剤を使用することがありますか

- イ、ありません ロ、薬剤を使用することがある

（薬剤名とメーカー ）

、廃棄物の処理

- 1、廃棄資材の処理は、どうしていますか（回答は複数でかまいません）
 - イ、できるだけ再利用し、廃棄物を少なくするように心がけている
 - ロ、廃棄資材は、専門の業者（農協含む）に委託し処理している
 - ハ、農場の片隅にまとめているが、処理していない。
 - ニ、農場で焼却処分している
 - ホ、その他（ ）
- 2、農機具の廃油の処理は、どうしていますか。
 - イ、専門の業者に委託し処理している
 - ロ、農場施設の廃油ストーブなどで利用している
 - ハ、廃棄物といっしょに焼却処分している
 - ニ、その他（ ）
- 3、農薬の空き容器の処理
 - イ、農協を通じて、専門の業者に処分を依頼している。
 - ロ、農薬販売店に引き取ってもらっている。
 - ハ、特に区別なく不燃ごみをいっしょに出している。
 - ニ、圃場のわきで焼いている。

、農薬撒布機の洗浄はどのように行っていますか。

- イ、定期的に洗浄している。洗う回数等（ ）
- ロ、使用後毎回洗浄している。
- ハ、作物ごとに使い分け、次の作物に作業が移るときには必ず洗浄している。
- ニ、年間を通じてほとんど洗浄していない。

、農薬の保管はどのようにしていますか

- イ、鍵付きの専用の農薬小屋がある
- ロ、鍵付きのロッカーに隔離保管している
- ハ、専用の置き場所を決めているが、隔離されてはいない
- ニ、特定の置き場所は決まっていない

、農薬の在庫管理

- イ、定期的に確認し、在庫管理記録をつけている
- ロ、毎年新規購入時に在庫を確認しているが記録はつけていない
- ハ、必要なものを、購入するだけで、残りはあるようだが確認していない
- ニ、在庫は、持たないように、使いきり分のみ購入している

質 問 表 B

各項目ともいくつ選択してもかまいません。

生産者名 _____ 印

特定非営利活動法人

日本有機農業生産団体中央会

1、特別栽培を始めた動機を下記の項目から選択してください

- ・ 持続的な農業を考えた結果
- ・ 自分の信念または宗教上の理由から
- ・ 良品を多収できる農業として
- ・ 環境と調和した農業を目指すため
- ・ 面白い（興味ある）資材に出会ったから
- ・ 自然と共生、循環的な農業を目指すため
- ・ 近くで実践している圃場の良い作物を見て
- ・ まわりで農薬被害を経験したから
- ・ 近くに良い先輩・仲間がいたから
- ・ 化学肥料で栽培上のトラブルを経験したから
- ・ その他
- ・ 土壌微生物の働きを知ったから ()
- ・ 地力の維持・向上策を考えた結果

2、農薬について、使用しない又は削減している理由を下記の項目から選んでください。

- ・ 農薬を使用しないという信念をもっている
- ・ 地球やまわりの環境に悪影響があることを知ったから
- ・ 自分や家族に農薬の被害があった経験から
- ・ 特に輪作を徹底しているのだから必要がない
- ・ 書物や文書から農薬の怖さを知ったから
- ・ 特に忌避作物を混植し、対応しているのだから必要ない
- ・ 地力をあげ土壌微生物の働きを活性化すれば農薬を必要としなくなることを実践で知っているから
- ・ 病虫害を発生させない秘蔵の資材を活用しているから
- ・ 品種・系統・栽培期間を工夫することにより農薬を使用する必要性がなくなることを知ったから
- ・ その他 ()

3、肥料について、化学肥料を使わない又は削減する理由を下記の項目から選んでください。

- ・ 化学肥料の使用で人や作物に多大な被害を出した経験から
- ・ 美味い農産物をつくるため
- ・ 作物・土壌に悪影響があると考えから
- ・ 良質な堆肥があるので化学肥料の必要を感じなくなったから
- ・ 本や文献で化学肥料の恐さを知ったから
- ・ 特に輪作を徹底し、地力の維持に努めているのだから必要ない
- ・ 化学肥料は大切な微生物を殺したり、すみ難くして生態系を壊すことを知ったため
- ・ 緑肥作物を活用しているのだから必要ない
- ・ 作物を育てるのは、肥料ではなく地力であることを知ったから
- ・ その他 ()
- ・ 化学肥料を入れると病虫害が発生しやすいことを知ったから。